

会 議 録

会議の名称	平成29年度第1回茨木市環境審議会
開催日時	平成29年9月25日（月） （午前（午後） 1時00分 開会 （午前（午後） 3時00分 閉会
開催場所	市役所南館3階 防災会議室
議 長	三輪 信哉
出 席 者	石山 郁慧、岩渕 善美、久米 辰雄、天保 好博、藤田 紫、 前迫 ゆり、三上 雅弘、三輪 信哉、武蔵野 實、森下 恭子、 山田 俊一 【11人】
欠 席 者	玉井 昌宏 【1人】
傍 聴 人	1人
事務局職員	吉田産業環境部長 神谷産業環境部次長兼資源循環課長、抱環境事業課長 松山環境政策課長、吉岡環境政策課参事 井澤環境政策課主幹兼政策係長、伊藤環境政策課推進係長、 木下環境政策課職員 【8人】
開催形態	公開
議題・報告	1 議題 （1）いばらきの環境について（平成28年度年次報告書）
配布資料	・平成29年度版いばらきの環境（平成28年度年次報告書） ・平成29年度版いばらきの環境（平成28年度年次報告書）資料編 ・いばらきエコポイントチラシ ・平成28年度版いばらきの環境抜粋

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
	1 審議会の成立の確認
会長	本日の委員の出席状況について、事務局から報告を願いたい。
事務局	本日は12人の委員のうち、11人に出席いただいている。
会長	本日は半数以上の委員が出席しているので、環境審議会規則第3条第2項により会議は成立している。
	1 公開・非公開の確認
会長	議事に入る前に、本会議の公開・非公開について確認したい。審議会等の会議の公開について、事務局の説明を願いたい。
事務局	「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」の第2によって、原則として審議会を公開の対象となる会議と規定しており、同指針第4では公開・非公開を審議会の中で決定することとなっている。なお、環境審議会では、既に会議資料も含めて原則公開と決定しており、傍聴要領のとおり定めている。
会長	ただいまの説明のように、本審議会は原則公開としており、本日は公開でよろしく願いたい。
	1 議題
会長	それでは議題に入る。事務局から「いばらきの環境について（平成28年度年次報告書）」について、説明をいただきたい。
事務局	「1 いばらきの環境について（平成28年度年次報告書）」 いばらきの環境に基づき、概要を説明
会長	事務局から説明があったが、環境基本計画の記載では、本審議会では年次報告書に対して助言を行うこととなっている。内容について、質問、意見等はないか。いただいたご意見は、最終的には、32ページに審議会の助

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	言として掲載する。
A委員	2ページの航空写真を見やすくしてほしい。
B委員	全体のキャッチフレーズである「心がけから行動へ」を表紙に記載し、書体を工夫して見せ方を工夫するのはどうか。このキャッチフレーズが出てくるところには、同じデザインを入れる。 航空写真については、要所の地名が入っていると分かりやすいので、数字や横線を外し、地名を入れてほしい。
C委員	航空写真の数字の対応関係が、平成25年度と平成28年度でずれている。また、これらの年度で顕著に違う箇所が、明確ではない。 3ページの「いばらき環境ニュース」にある路上喫煙禁止区域の記事について、図では禁止区域が細く記載されており分かりづらいが、禁止区域は歩道なのか。 また、緑の相談の窓口が設けられたという記事については、都市と緑や生物多様性など、他の重要なテーマがある中で、とりわけこの話題を強調したいのであれば、写真を入れ、シンプルに分かりやすくアピールしてほしい。
D委員	4ページのダンボールコンポスト市民モニターは盛況だったのか。
会長	モニター講習会の雰囲気分かれば良い。
E委員	2ページの航空写真について、平成25年度から平成28年度にかけて、どのように変化したのか。北部の山の開発をしているが、植林で緑を確保できているとか、良い方向に変化していれば、アピールできれば良い。
F委員	北部の緑地面積は減っているが、整備により山崩れが防止できているなど、山林保全対策で工夫したことがあればPRするべきである。
会長	B委員からご提案のあった「心がけから行動に」をPRしていくという意見は、皆さんの意見ということで考えてよろしいか（異議なし）。また、北部の緑地に関して、事務局から何かあるか。
事務局	航空写真については、固定資産の評価替えの関係で撮影している写真を使用している。緑地と市街地の区別が明確でないため、ご理解いただける

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ような資料を探すように指示する。参考程度であるが、茨木市において、緑で被われた面積割合を示す指標である緑被率は60.4%である。北摂では箕面市に次いで高い水準となっていることから、茨木市は比較的、緑に被われた状態であると言える。
会長	現状の航空写真では分かりにくいので、緑地の変化や山林保全の努力をしたことが分かるように、検討をお願いしたい。
B委員	航空写真を縦に並べずに、斜めに配置すればやや大きく表示できる。
会長	2 ページの掲載方法については、検討していただく。 3 ページの路上喫煙禁止区域の該当部分が見えづらいのはなぜか。
事務局	該当区域が歩道なので、図では細くなっている。図に矢印を追加するなどして、分かりやすくする。
会長	3 ページの「バランスのとれた自然環境をつくる」の記事は、「緑の相談」を取り上げるということによいのか。
C委員	平成28年度実績として他に特筆すべきことがなく、緑の相談を取り上げるのであれば、文章量を減らして写真でアピールするよう工夫してほしい。
会長	続いて、基本施策1「いごこちの良い生活環境を保つ」について、何かご意見はあるか。
B委員	全体的に、基本施策の文字が大きすぎる。取り組み方針の文字を大きくするほうが分かりやすいので、文字の大きさを変更したほうが良い。 5 ページの「公共下水道の人口普及率」がずっと99.3%である理由は何か。
事務局	本来100%であるべきだが、下水の本管の工事をするとき、本管の上すでに建物があり工事ができない等の理由が考えられる。
B委員	0.7%の下水は、川に流されているのか。
事務局	6 ページに記載している合併浄化槽や汲み取りで対応している。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	比率が将来も変わらないのであれば、今後、指標として見直す必要がある。
G委員	5ページの「道路騒音の環境基準達成率」については、目指すべき方向性と異なっているので、コメントを掲載してほしい。
事務局	道路騒音については、5年間で24地点をローリング調査するため、年によって測定地点が変わることがある。
会長	達成率の変化は、測定地点が変わったための変化であるのか、あるいは、大規模開発によって建設工事の車両が増えたことなどが原因であるのか。
事務局	大きな原因は、測定地点が変わっているためだと考えている。達成率が悪い3路線3地点については、毎年調査をしている。
H委員	毎年調査している地点だけ掲載してもらえれば分かりやすい。
会長	測定地点が変わったことにより、データが読み取れないのはもったいないので、ご検討いただきたい。
C委員	グラフに目指す方向性を示す矢印が書かれているが、指標によって背景が違うので、達成しているのかが分かりにくいところがある。例えば、路上喫煙率は、数値が非常に小さく、場所や見つける人の配置等で変わってくる。数値をどう考えるのが難しく、達成できているのかどうかが見えにくい。数値に対する評価を、もっと分かりやすく表示できないか。
事務局	環境基本計画では、目標値を定めるのではなく、環境指標を設定し、各指標ごとに数値目標を決めて、年度ごとに評価する制度としている。現状では、達成度合いが見づらいので、指標ごとに、書けるものについては文言を追加していく。
C委員	文言が追加されても分かりづらい。他自治体でも例があるが、「ほぼ達成」など、3段階程度でランク付けをしたマークを入れるのはどうか。冊子の中では難しいかもしれないが、達成状況が客観的に分かる数値設定についても、今後検討していただきたい。
事務局	環境基本計画では目標値を設定していないが、総合計画に基づく実施計

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	画の施策評価の中で、環境指標の一部を目標値に入れているので、一部については、そこで報告している。
C 委員	市民が見て、もっと取り組もうと思っていただくための資料なので、分かりやすい表現をお願いしたい。
E 委員	9 ページの不法投棄とはどこに誰が投棄しているのか。500件近くあり量が多い。市街地でも不法に捨てられているものもある。不法投棄の犯人が分からない時は、市が処分するのか。
事務局	不法投棄としては、山間部など人がいないところに投棄される場合があり、警察と連携し夜間パトロールを実施している。通常のごみ置き場への不法投棄についても、警察と協力し対応している。捜査のため、投棄物をしばらく置いておくなど、市民の皆さんにご協力とご苦勞をおかけする場合もある。警察と協力しながら、ケースバイケースで対応している。
I 委員	公害の苦情の解決率は、分母が小さいと数値が変わる。苦情の件数が全体的に減っていて、かつ解決しているのか。近い年度は解説されているが、過去年度についても解説があるとよい。
会長	9 ページの「飼い猫等の避妊・去勢手術費補助件数」は、目指す方向性が上向きになっているが、取り組みが進めば単年度の件数は頭打ちになる。累積値にしてはどうか。 続いて、基本施策 2 についてご意見はあるか。
H 委員	11 ページの「市街地の公園・緑地面積」は、既存の公園を無くして新たに公園を作っているのか。あるいは、既存の公園が残って新しい公園が増えているのか。資料編に公園数の増減が分かるように記載してほしい。
B 委員	16 ページは、「北部地域のプロジェクトについて」の記事を一番上に配置して、内容を整理すべきである。また、現状では、ヒアリは茨木市には入ってきていない。写真だけではヒアリの特徴が分かりにくく、環境省や博物館への市民からの問合せが増えるので、掲載方法を考えなおしてほしい。
C 委員	ヒアリの記述はもう少し縮小したほうが良い。ただ、大阪府や兵庫県などの周辺地域にヒアリは侵入しているが、茨木市には現段階では入ってい

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ないという記述は重要である。 15ページに、ガイドブックが出るという記述があるが、本当に出るのであれば、「予定です」ではなく「刊行します」と記載すべきである。 15ページのホタル鑑賞の写真が暗いので、差し替えてほしい。
J 委員	13ページの「エコ農産物」の定義が分からないので、記載をお願いしたい。
会長	続いて、基本施策3についてご意見はあるか。
E 委員	17ページについて、市民1人あたりの温室効果ガス年間排出量が増える傾向にある。目指す方向性と逆に進んでいるものについては、市民が努力する方向について、メッセージを出してほしい。
事務局	温室効果ガスの年間排出量は、活動量×排出係数で算出する。市民の努力というよりも、別添の別2に記載しているが、平成23年の東日本大震災後、原発の稼働率が下がったことで火力発電の割合が増加し、排出係数が高くなったことが主な原因であると捉えている。それが分かるように記載させていただく。
D 委員	環境教育ボランティアとして啓発に取り組んでいるが、市民として温室効果ガス排出量削減の努力をしていないと感じる時もある。読んだ人の啓発になるようなページを作ったらどうか。
C 委員	温室効果ガスについて、市民と企業の排出量を分けるのは難しいのか。
事務局	別添の別2「市域の1人あたりの温室効果ガス排出量」に、部門ごとの内訳を記載している。
C 委員	17ページの「市民1人あたりの温室効果ガス年間排出量」のグラフを見れば、別添の別2のグラフを参照できるように記載することは可能か。温室効果ガスの排出量抑制のために、市民や企業がどれくらい努力をしているのかについては、大きなテーマであるので、分かりやすく記載してほしい。
G 委員	17ページのグラフと、別添の別2のグラフの数値が異なっているが、良いのか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	昨年度と算出方法が変わったので数値が異なっている。ご指摘いただいた箇所については、8月に実施した環境審議会地球温暖化対策推進部会での検討も踏まえて、変更させていただく予定である。
会長	別添の別3「市域の1人あたりのエネルギー消費量」に記載があるように、市域全体のエネルギー消費量は減少傾向にある。産業部門が減少しているのは、茨木市から大きな産業が減っているからである。一方で、D委員からの発言にあった、市民に対する働きかけの必要性について、審議会の助言に記載する方向で検討する。
H委員	別添の別2「市域の1人あたりの温室効果ガス排出量」については、近隣都市の平均が4.89 t (t-CO2/年・人)となっており、茨木市だけが悪いような表現になっている。近隣都市には大きな工場がないことが原因と思われるので、誤解を招かないような記述をお願いしたい。
J委員	17・18ページについて、市民による温室効果ガスの削減努力として、「ええことカレンダー」の取り組み事例を、一部抜粋して載せるのはどうか。
A委員	環境啓発のイベントは、安威川フェスティバル・農業祭・環境フェアと、全て11月に実施される。宙いものイベントも11月にある。1年間で時期を分けて実施するほうが、啓発効果が上がると考える。ボランティアの立場からすると、11月は行事が多すぎる。各課が協調して、それぞれ関連づけて効果が上がるようにしてほしい。また、北部の注目を集めるための大きなイベントとして里山まつりの記載がないので、今後、記載していただければと考える。
J委員	19ページについて、「再生可能エネルギー」と「バイオエタノールプラント」の定義を書いてほしい。
会長	基本施策4について、何かご意見はあるか。
B委員	25ページのスマートフォンアプリ「茨ごみプリ」の周知に努めているとあるが、利用者はどのくらいか。
事務局	ダウンロード数は、8月末現在で8,409件である。
J委員	25ページの「資源化物収集量」の内訳はどのようになっているのか。資

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	料編49ページの数値と若干異なっている。
事務局	資料編49ページ⑧の内訳には、環境衛生センターに直接持ち込まれる金属くず等が含まれていないので、数値が異なる。本編25ページにも資源化物の品目の内訳を掲載する方向で考える。
D委員	集団回収量が減少している原因は何か。
事務局	新聞の持込が減っているためと考えている。
会長	市の直接の回収量が増加しているのか。
事務局	25ページの資源化物回収量の表から読み取られるのが市による直接の回収量であり、ご覧のとおり、集団回収量の減少分が資源化物回収量に上乗せされているわけではない。
会長	25ページの資源化物収集量や集団回収量については、関心を集めるテーマであるので、コメントの表現を工夫してほしい。
F委員	28ページ「ごみ処理施設の整備」について、環境性能に関する内容を入れてほしい。焼却灰が出ないほか、スラグを再資源化できるので埋立物が少なくてすむ全国的にも珍しい熔融炉であり、ダイオキシンが低減されるなどの特徴がある。
C委員	29ページのボランティアの登録人数等については、経年変化のグラフにできないのか。
事務局	グラフにすることは可能であるので追記する。
D委員	小学校向けの環境教育は、先生方の依頼によって実施するので、もう少しPRしていただきたい。
J委員	別添の別3、4については、単位がJだが、別5の「市の事務事業におけるエネルギー使用量」については、原油換算で単位がk1である。単位が異なるのはなぜか。
事務局	市の事務事業に係るエネルギー使用量について記載したエコオフィスブ

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
J 委員	ランいばらき推進事業の報告の単位がk1になっているのは、省エネ法でよく使われる原油換算(k1)で数値を把握しているためである。地球温暖化の法律に係る部分については、単位は熱量(J)になっている。 単位を統一したほうが分かりやすい。
会長	32ページについては、審議会から市へ提言する。 その内容は、次のとおりとする。心がけから行動へという文言を表紙に掲載する。2 ページについて全体像としての環境の保全について見せ方を検討する。目標値や達成度合いを分かりやすく表現する。イベントが11月に集中しているので、各課協調して効果の高いものにする。温室効果ガスの削減という大きなテーマの見せ方を検討する。次世代への環境教育の取り組みを強調する。以上のような方向でまとめたい。 文案については、会長と事務局で調整し、各委員にも確認いただきたい。そのほか、修正点があれば、9 月中に事務局に連絡をお願いしたい。 1 閉会